

三矢の訓

令和3年9月24日 発行



2学期が始まりました 8月30日(月)

今年の夏休みには、オリンピック・パラリンピックがありました。多くの選手たちの活躍に感動された方も多かったのではないのでしょうか。水泳の大橋選手、池江選手、柔道の阿部選手兄妹、車いすバスケの鳥海選手、ボッチャの杉村選手、挙げればきりがありません。1年延期の大会となり、選手の皆さんもコロナに振り回されてきたと思いますが、それでも毎日練習を積み重ね、準備をしっかりとて、大会を迎えたからこそ、あの感動があったのでしょうか。何ごとにも振り回されることなく、準備をしっかりと重ねていくことの大切さを、子どもたちに伝えたいと思い、

「(伊島小でも)2学期はコロナに悩まされ、行事や学習が延期や中止になるかもしれない。しかし、一つ一つの目標に向かって、毎日の生活(準備)をおろそかにすることなく、進んでいこう。」

という話をしました。

緊急事態宣言は明けましたが、学校行事やPTA行事も予定通りにはいかないでしょう。そんな中でも、子どもたちが、前向きに、明るく、楽しく成長していける学校にしていきたいと思っています。2学期も、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

9月8日(水) 避難訓練(不審者対応)

今年は、コロナ感染防止のために、児童全員を実際に集めるわけにはいきません。そこで、教職員が知恵をしばりました。

毎年、子どもたちに先立って、教職員だけで、警察の方の協力も得ながら不審者対応訓練をしているのですが、その様子をビデオに録り、編集をして子どもたちに見せることにしました。学校で、実際に起こったときのイメージをもてるようにして、万々に備えようということです。



これは、当日指導に来てくださった岡山県警察スクールサポーターの実光さん、^{しつみつ}村岡さんからも「自分の学校で録っているものなので、子どもたちにもよく分かる。他の学校

裏もあります

にも広めたい。」とおほめの言葉をいただきました。

確かに、実際に、不審者対応の訓練をしても、不審者が侵入するのは代表のクラスだけになります。しかし、今回の訓練では、どのクラスの子どもも全員がイメージすることができます。また、ビデオなので、必要以上に恐怖感を与える心配もありません。今後の避難訓練にも生かしていけるものになりました。

伊島小学校が「市民のひろば」に紹介されました。



8月の下旬から配布されていたので、もう、ご存じのことと思いますが、岡山市の広報誌「市民のひろば おかやま特集号 Vol38」に、伊島小学校の「総合的な学習の時間」の様子が紹介されました。

今年度から「岡山市教育大綱」が新しくなり、岡山市の教育では「自らの個性を磨き、選択と挑戦を繰り返すことができる子どもの育成」を目指していくことが示されました。中でも、情報機器を活用した学習や探究的な学習の充実などが重点に挙げられています。

そこで、伊島小学校に白羽の矢が立ったのです。

【市民のひろばに掲載されるまでの経緯】

5月、教育委員会から一本の電話がかかってきました。

「昨年度、京山公民館で伊島小のE S Dに関する発表（「総合的な学習の時間」で取り組んだこと）を見ました。大変良い発表で感心しました。今年度から教育大綱が新しくなり、探究的な学習を大切にしたいと思っています。伊島小の「総合的な学習の時間」を視察に行かせていただきたいのですが・・・。」ということでした。

今年度は4年生が発表をする年になっていたので、4年生の学習（福祉の内容）を見ていただくことにしました。子どもたちが生き生きと学び、自分から課題を見つけていく姿を見て、

「大変良かったです。ありがとうございました。『市民のひろば』という岡山市の広報誌はご存じでしょうか。この実践例を載せたいのですが・・・。」

あれよあれよという間に、岡山市全体に紹介

されることになりました。今の6年生（が5年生の時）の実践が評価され、4年生の実践も評価されました。大変うれしいことでした。これからも、子どもたちの探究的な学びを大切にしていきたいと思っています。

